

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院医学薬学府先端医学薬学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基盤講義科目	医学研究序説・生命倫理学特論	1・2・3・4前	1			○			9		1				オムバス
	生命倫理と法的規制	1・2通		1		○						1			ｽﾃｲﾌﾞ
系統講義科目	生命情報科学	1・2・3・4前		1		○			1	1					オムバス
	創薬情報科学	1・2・3・4前		1		○				1		1			オムバス
	個別化医療薬理学	1・2・3・4前		1		○			1						オムバス
	機能ゲノム学	1・2・3・4前		1		○			2	1	1	1			兼1 兼3 オムバス
	疾患モデル論	1・2・3・4前		1		○			5						オムバス
	プレゼンテーションセミナー／中級	1・2・3・4前		1		○			2						オムバス
	プレゼンテーションセミナー／上級	1・2・3・4前		1		○			2						オムバス
	医薬統計概論	1・2・3・4後		1		○									オムバス
	臨床研究入門	1・2・3・4後		1		○						1			オムバス
	臨床研究と生物統計学	1・2通		1		○			1		1				ｽﾃｲﾌﾞ
領域横断科目	精神・社会腫瘍学と患者教育	1・2通		1		○									ｽﾃｲﾌﾞ
	医療ケアとチーム医療	1・2通		1		○					1				ｽﾃｲﾌﾞ
展開講義科目	病態制御治療学特論	1・2・3・4前		1		○			3	3	2				オムバス
	病態制御治療学特論Ⅱ	1・2・3・4前		1		○			4		4				オムバス
	難治性疾患診断学特論	1・2・3・4前		1		○			5	1	4				オムバス
	難治性疾患診断学特論Ⅱ	1・2・3・4前		1		○			2	3	1	1			オムバス
	環境医学特論	1・2・3・4前		1		○			4		2	1			オムバス
	環境医学特論Ⅱ	1・2・3・4前		1		○			2	1					オムバス
	再生／移植医学特論	1・2・3・4前		1		○			8						オムバス
	高次脳機能学特論	1・2・3・4前		1		○			3	1	1	2			オムバス
	分子機能病態学特論	1・2・3・4前		1		○			5	3					オムバス
	発生再生医学特論	1・2・3・4前		1		○			4						オムバス
	成人・高齢者医療特論	1・2・3・4前		1		○			6	2	1	2			オムバス
	神経病態学特論	1・2・3・4前		1		○			3		3	2			オムバス
	適正化臨床薬剤学	1・2・3・4後		1		○			1		1				オムバス
	臨床アレルギー学特論	1・2・3・4前		1		○			6	2					オムバス
	臨床腫瘍学特論	1・2・3・4前		1		○			5	3					兼1 オムバス
	基礎腫瘍学	1・2・3・4前		2		○			2	2	2	1			ｽﾃｲﾌﾞ
	臨床腫瘍学概論	1・2・3・4前		2		○			1	5	1	1			ｽﾃｲﾌﾞ
臨床研究応用	1・2・3・4後		1		○			1		1				オムバス	
臨床研究展開	1・2・3・4後		1		○					1				オムバス	
小計(33科目)		—	1	34	0	—			43	21	22	8	0	兼5	—
	環境影響生化学特論	1・2・3・4前後		2		○			1		1	2			
	環境影響生化学演習	1・2・3・4前後		2			○		1		1	2			
	環境影響生化学実習	1・2・3・4前後		1				○	1		1	2			
	環境労働衛生学特論	1・2・3・4前後		2		○			1	1		1			
	環境労働衛生学演習	1・2・3・4前後		2			○		1	1		1			
	環境労働衛生学実習	1・2・3・4前後		1				○	1	1		1			
	環境生命医学特論	1・2・3・4前後		2		○			1	1					
	環境生命医学演習	1・2・3・4前後		2			○		1	1					
	環境生命医学実習	1・2・3・4前後		1				○	1	1					
	公衆衛生学特論	1・2・3・4前後		2		○			1	1					
	公衆衛生学演習	1・2・3・4前後		2			○		1	1					
	公衆衛生学実習	1・2・3・4前後		1				○	1	1					
	法医学特論	1・2・3・4前後		2		○			1		1	2			
	法医学演習	1・2・3・4前後		2			○		1		1	2			
	法医学実習	1・2・3・4前後		1				○	1		1	2			
	麻酔学特論	1・2・3・4前後		2		○			1	2	2				
	麻酔学演習	1・2・3・4前後		2			○		1	2	2				
麻酔学実習	1・2・3・4前後		1				○	1	2	2					
呼吸器内科学特論	1・2・3・4前後		2		○			1	1	2	3				

呼吸器内科学演習	1・2・3・4前後	2			○		1	1	2	3	
呼吸器内科学実習	1・2・3・4前後	1			○		1	1	2	3	
診断病理学特論	1・2・3・4前後	2	○				1	1		2	
診断病理学演習	1・2・3・4前後	2			○		1	1		2	
診断病理学実習	1・2・3・4前後	1			○		1	1		2	
和漢診療学特論	1・2・3・4前後	2	○					1			
和漢診療学演習	1・2・3・4前後	2			○			1			
和漢診療学実習	1・2・3・4前後	1			○			1			
神経生物学特論	1・2・3・4前後	2	○					1			
神経生物学演習	1・2・3・4前後	2			○			1			
神経生物学実習	1・2・3・4前後	1			○			1			
認知行動生理学特論	1・2・3・4前後	2	○				1		1	1	兼1
認知行動生理学演習	1・2・3・4前後	2			○		1		1	1	兼1
認知行動生理学実習	1・2・3・4前後	1			○		1		1	1	兼1
代謝生理学特論	1・2・3・4前後	2	○				1			1	
代謝生理学演習	1・2・3・4前後	2			○		1			1	
代謝生理学実習	1・2・3・4前後	1			○		1			1	
眼科学特論	1・2・3・4前後	2	○				1		3	4	
眼科学演習	1・2・3・4前後	2			○		1		3	4	
眼科学実習	1・2・3・4前後	1			○		1		3	4	
脳神経外科学特論	1・2・3・4前後	2	○				1	1	2	3	
脳神経外科学演習	1・2・3・4前後	2			○		1	1	2	3	
脳神経外科学実習	1・2・3・4前後	1			○		1	1	2	3	
神経内科学特論	1・2・3・4前後	2	○				1		3	4	兼2
神経内科学演習	1・2・3・4前後	2			○		1		3	4	兼2
神経内科学実習	1・2・3・4前後	1			○		1		3	4	兼2
精神行動発達障害学特論	1・2・3・4前後	2	○								兼1
精神行動発達障害学演習	1・2・3・4前後	2			○						兼1
精神行動発達障害学実習	1・2・3・4前後	1			○						兼1
遺伝子医化学特論	1・2・3・4前後	2	○				1	1	1		
遺伝子医化学演習	1・2・3・4前後	2			○		1	1	1		
遺伝子医化学実習	1・2・3・4前後	1			○		1	1	1		
分子ウイルス学特論	1・2・3・4前後	2	○				1			2	
分子ウイルス学演習	1・2・3・4前後	2			○		1			2	
分子ウイルス学実習	1・2・3・4前後	1			○		1			2	
病態病理学特論	1・2・3・4前後	2	○					2		1	
病態病理学演習	1・2・3・4前後	2			○			2		1	
病態病理学実習	1・2・3・4前後	1			○			2		1	
腫瘍病理学特論	1・2・3・4前後	2	○				1	1		2	
腫瘍病理学演習	1・2・3・4前後	2			○		1	1		2	
腫瘍病理学実習	1・2・3・4前後	1			○		1	1		2	
泌尿器科学特論	1・2・3・4前後	2	○				1	1	2	4	
泌尿器科学演習	1・2・3・4前後	2			○		1	1	2	4	
泌尿器科学実習	1・2・3・4前後	1			○		1	1	2	4	
小児外科学特論	1・2・3・4前後	2	○				1		2	2	
小児外科学演習	1・2・3・4前後	2			○		1		2	2	
小児外科学実習	1・2・3・4前後	1			○		1		2	2	
分子腫瘍生物学特論	1・2・3・4前後	2	○								兼2
分子腫瘍生物学演習	1・2・3・4前後	2			○						兼2
分子腫瘍生物学実習	1・2・3・4前後	1			○						兼2
病原分子制御学特論	1・2・3・4前後	2	○				1	1		1	
病原分子制御学演習	1・2・3・4前後	2			○		1	1		1	
病原分子制御学実習	1・2・3・4前後	1			○		1	1		1	
薬理学特論	1・2・3・4前後	2	○				1	1		1	
薬理学演習	1・2・3・4前後	2			○		1	1		1	
薬理学実習	1・2・3・4前後	1			○		1	1		1	
感染生体防御学特論	1・2・3・4前後	2	○					1		1	
感染生体防御学演習	1・2・3・4前後	2			○			1		1	
感染生体防御学実習	1・2・3・4前後	1			○			1		1	
分子生体制御学特論	1・2・3・4前後	2	○				1	1		1	
分子生体制御学演習	1・2・3・4前後	2			○		1	1		1	
分子生体制御学実習	1・2・3・4前後	1			○		1	1		1	
細胞治療内科学特論	1・2・3・4前後	2	○				1	1	1	6	
細胞治療内科学演習	1・2・3・4前後	2			○		1	1	1	6	
細胞治療内科学実習	1・2・3・4前後	1			○		1	1	1	6	

個別領域科目	臓器制御外科学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	1	6	6	
	臓器制御外科学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	1	6	6	
	臓器制御外科学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	1	6	6	
	皮膚科学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	1	1	2	
	皮膚科学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	1	1	2	
	皮膚科学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	1	1	2	
	分子病態解析学特論	1・2・3・4前後	2	○			1		1	2	
	分子病態解析学演習	1・2・3・4前後	2		○		1		1	2	
	分子病態解析学実習	1・2・3・4前後	1			○	1		1	2	
	医療行政学特論	1・2・3・4前後	2	○							兼2
	医療行政学演習	1・2・3・4前後	2		○						兼2
	医療行政学実習	1・2・3・4前後	1			○					兼2
	形態形成学特論	1・2・3・4前後	2	○			1		2	1	
	形態形成学演習	1・2・3・4前後	2		○		1		2	1	
	形態形成学実習	1・2・3・4前後	1			○	1		2	1	
	発生生物学特論	1・2・3・4前後	2	○			1			2	
	発生生物学演習	1・2・3・4前後	2		○		1			2	
	発生生物学実習	1・2・3・4前後	1			○	1			2	
	生殖機能病態学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	2		8	
	生殖機能病態学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	2		8	
	生殖機能病態学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	2		8	
	遺伝子制御学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	1	1	4	
	遺伝子制御学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	1	1	4	
	遺伝子制御学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	1	1	4	
	分化制御学特論	1・2・3・4前後	2	○					1	1	
	分化制御学演習	1・2・3・4前後	2		○				1	1	
	分化制御学実習	1・2・3・4前後	1			○			1	1	
	免疫発生学特論	1・2・3・4前後	2	○			1		1	2	
	免疫発生学演習	1・2・3・4前後	2		○		1		1	2	
	免疫発生学実習	1・2・3・4前後	1			○	1		1	2	
	小児病態学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	1	3	6	
	小児病態学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	1	3	6	
	小児病態学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	1	3	6	
	免疫制御学特論	1・2・3・4前後	2	○							兼3
	免疫制御学演習	1・2・3・4前後	2		○						兼3
	免疫制御学実習	1・2・3・4前後	1			○					兼3
	整形外科学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	1	2	6	
	整形外科学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	1	2	6	
	整形外科学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	1	2	6	
	耳鼻咽喉科学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	1	1	6	
	耳鼻咽喉科学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	1	1	6	
	耳鼻咽喉科学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	1	1	6	
	救急集中治療医学特論	1・2・3・4前後	2	○			1			4	
	救急集中治療医学演習	1・2・3・4前後	2		○		1			4	
	救急集中治療医学実習	1・2・3・4前後	1			○	1			4	
	形成外科学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	1		2	
	形成外科学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	1		2	
	形成外科学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	1		2	
	腫瘍内科学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	1	2	7	
	腫瘍内科学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	1	2	7	
腫瘍内科学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	1	2	7		
精神医学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	2	1	3		
精神医学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	2	1	3		
精神医学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	2	1	3		
放射線医学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	1	2	4		
放射線医学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	1	2	4		
放射線医学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	1	2	4		
放射線治療学特論	1・2・3・4前後	2	○							兼1	
放射線治療学演習	1・2・3・4前後	2		○						兼1	
放射線治療学実習	1・2・3・4前後	1			○					兼1	
胸部外科病態学特論	1・2・3・4前後	2	○			1		2	4		
胸部外科病態学演習	1・2・3・4前後	2		○		1		2	4		
胸部外科病態学実習	1・2・3・4前後	1			○	1		2	4		
細胞分子医学特論	1・2・3・4前後	2	○			1			2		
細胞分子医学演習	1・2・3・4前後	2		○		1			2		

細胞分子医学実習	1・2・3・4前後	1			○	1				2	
循環病態医学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	1	3	6		
循環病態医学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	1	3	6		
循環病態医学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	1	3	6		
臨床遺伝子応用医学特論	1・2・3・4前後	2	○			1					
臨床遺伝子応用医学演習	1・2・3・4前後	2		○		1					
臨床遺伝子応用医学実習	1・2・3・4前後	1			○	1					
臨床分子生物学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	1	2	4		
臨床分子生物学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	1	2	4		
臨床分子生物学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	1	2	4		
先端応用外科学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	1	3	8		兼1
先端応用外科学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	1	3	8		兼1
先端応用外科学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	1	3	8		兼1
遺伝子情報学特論	1・2・3・4前後	2	○				2				
遺伝子情報学演習	1・2・3・4前後	2		○			2				
遺伝子情報学実習	1・2・3・4前後	1			○		2				
疾患生命医学特論	1・2・3・4前後	2	○			1					
疾患生命医学演習	1・2・3・4前後	2		○		1					
疾患生命医学実習	1・2・3・4前後	1			○	1					
心臓血管外科学特論	1・2・3・4前後	2	○			1		1	1		
心臓血管外科学演習	1・2・3・4前後	2		○		1		1	1		
心臓血管外科学実習	1・2・3・4前後	1			○	1		1	1		
先端化学療法学特論	1・2・3・4前後	2	○			1					
先端化学療法学演習	1・2・3・4前後	2		○		1					
先端化学療法学実習	1・2・3・4前後	1			○	1					
医療教育学特論	1・2・3・4前後	2	○			1		2			
医療教育学演習	1・2・3・4前後	2		○		1		2			
医療教育学実習	1・2・3・4前後	1			○	1		2			
内視鏡診断治療学特論	1・2・3・4前後	2	○								
内視鏡診断治療学演習	1・2・3・4前後	2		○							
内視鏡診断治療学実習	1・2・3・4前後	1			○						
臨床推論学特論	1・2・3・4前後	2	○			1					
臨床推論学演習	1・2・3・4前後	2		○		1					
臨床推論学実習	1・2・3・4前後	1			○	1					
医療情報学特論	1・2・3・4前後	2	○			1		1			
医療情報学演習	1・2・3・4前後	2		○		1		1			
医療情報学実習	1・2・3・4前後	1			○	1		1			
病原機能学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	3		1		
病原機能学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	3		1		
病原機能学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	3		1		
感染免疫学特論	1・2・3・4前後	2	○			1					
感染免疫学演習	1・2・3・4前後	2		○		1					
感染免疫学実習	1・2・3・4前後	1			○	1					
臨床感染症学特論	1・2・3・4前後	2	○			1			1		
臨床感染症学演習	1・2・3・4前後	2		○		1			1		
臨床感染症学実習	1・2・3・4前後	1			○	1			1		
微生物資源学特論	1・2・3・4前後	2	○			1	2		1		
微生物資源学演習	1・2・3・4前後	2		○		1	2		1		
微生物資源学実習	1・2・3・4前後	1			○	1	2		1		
神経科学特論	1・2・3・4前後	2	○			1					
神経科学演習	1・2・3・4前後	2		○		1					
神経科学実習	1・2・3・4前後	1			○	1					
司法心理学特論	1・2・3・4前後	2	○			1					
司法心理学演習	1・2・3・4前後	2		○		1					
司法心理学実習	1・2・3・4前後	1			○	1					
司法精神保健学特論	1・2・3・4前後	2	○			1					
司法精神保健学演習	1・2・3・4前後	2		○		1					
司法精神保健学実習	1・2・3・4前後	1			○	1					
応用精神医学特論	1・2・3・4前後	2	○			1		1			
応用精神医学演習	1・2・3・4前後	2		○		1		1			
応用精神医学実習	1・2・3・4前後	1			○	1		1			
環境毒性学特論	1・2・3・4前	2	○								兼3 オムニバス (隔年開講)
環境毒性学演習	1・2・3・4通	2		○							兼3 オムニバス
環境毒性学実習	1前	1			○						兼3 オムニバス
臨床薬物動態学特論	1・2・3・4前	2	○			2	2				

臨床薬物動態学演習	1・2・3・4通	2			○		2	2		2			オムニバス
臨床薬物動態学実習	1前	1				○	2	2		2			オムニバス
臨床医薬品学特論	1・2・3・4前	2			○		1						隔年開講
臨床医薬品学演習	1・2・3・4通	2				○	1			2			
臨床医薬品学実習	1前	1				○	1			2			
医薬品作用学特論	1・2・3・4前	2			○		1	2					オムニバス (隔年開講)
医薬品作用学演習	1・2・3・4通	2				○	1	2		1			オムニバス
医薬品作用学実習	1前	1				○	1	2		1			オムニバス
高齢者臨床薬剤学特論	1・2・3・4前	2			○		2		1				オムニバス (隔年開講)
高齢者臨床薬剤学演習	1・2・3・4通	2				○	2		1	2			オムニバス
高齢者臨床薬剤学実習	1前	1				○	2		1	2			オムニバス
細胞生物学特論	1・2・3・4前	2			○		1	1	1				オムニバス (隔年開講)
細胞生物学演習	1・2・3・4通	2				○	1	1	1	2			オムニバス
細胞生物学実習	1前	1				○	1	1	1	2			オムニバス
外科系腫瘍学	2・3通	4			○		4	4	4	3			ｽﾏｰｲﾌﾞ
腫瘍内科学	2・3通	4			○		1	3	6	4			ｽﾏｰｲﾌﾞ
放射線腫瘍学	2・3通	4			○			1	1				ｽﾏｰｲﾌﾞ
緩和医療学	2・3通	4			○				1				ｽﾏｰｲﾌﾞ
腫瘍薬学	4通	4			○		1	2					ｽﾏｰｲﾌﾞ
特別研究	1・2・3・4前後	2			○		58	38	59	135			
発表論文方法論	4前後	2			○		58	38	59	135			
小計 (235科目)	—	4	400	0	—	—	65	48	62	144	0	兼16	—
合計 (268科目)	—	5	434	0	—	—	65	43	61	144	0	兼17	—

学位又は称号	博士 (医学) , 博士 (薬学)	学位又は学科の分野	医学関係, 薬学関係
--------	-------------------	-----------	------------

設置の趣旨・必要性

I. 設置の趣旨・必要性

従来、医学系大学院は医療従事者が研究者として自立するために必要な研究能力を培い、専門分野において基礎研究を行う研究者を養成することを主な目的としていた。また、臨床系の大学院生といえども出身科の枠を超えて基礎医学の研究室に向き、融合的・領域横断的研究を活発に行うなど、旧来の4年博士課程は単一専攻に親和性を有していた。近年、医学・薬学系大学院を取り巻く状況は、卒後臨床研修導入に伴う医学部卒業生の大学院離れ、専門医資格取得意識の高まりなど激変している。この中で、医療の質を担保する医学知識の不足した臨床医の出現が懸念されつつあり、医療荒廃につながる極めて憂慮される社会問題となりつつある。この4年制大学院において病める人の正確な病状の把握と、その病態の科学的解析を遂行できる人材の養成する教育システムの構築は、新しい医療人育成のモデルケースとなるものと考えられる。したがって、医療におけるこの課題解決型のカリキュラムを持つ千葉大学大学院医学薬学府4年博士課程がこれからの医療をリードする多面的な能力を有する医療人を育成し、それら修了生の質を保証する単専攻大学院に移行することは必然であり、また、この改組が平成17年9月5日の中央教育審議会の答申「新時代の大学院教育—国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて—」の中の『医療系大学院の目的とそれに沿った教育等の在り方について』にも沿うものと考えられる。

一方、近年におけるグローバル化の潮流は、人々の活動を国家や洋の東西を超えた規模で考えることを強く意識させ、教育の規範をも大きく変化させている。国際化の荒波の中に存在している日本社会においても国際社会でリーダーシップを発揮できる有能な人材の養成が強く求められている。したがって、本学府は国際的な環境でリーダーシップを持って活躍できる人材の育成にも力を注いでおり、英語での講義、セミナー、発表や、米国大学などへの海外学術研修・医学研修の経済的な支援制度などを整備、拡充しつつあり、これらを学生に奨励している。また、海外の優秀な人材を受け入れ、教育する4年博士課程先端医学薬学国際プログラム学生募集を準備し、平成23年10月より受け入れる環境を既に整えた。この様に、従来の先端生命科学研究者を育成する課程をさらに発展させる基盤も整備されてきている。このことは、平成23年1月31日の中央教育審議会の答申「グローバル化社会の大学院教育～世界の多様な分野で大学院修了者が活躍するために～」に沿うものと考えられる。

薬学領域でも、平成18年度から薬学部では6年制学科(薬学科)と4年制学科(薬科学科)を併設している。平成24年3月には6年制学科の学生が初めて卒業するとともに、平成22年3月に4年制学科を卒業し、大学院修士課程に進学した学生が課程を修了する。この薬学科(6年制)の卒業生にあわせ、平成24年度から4年博士課程および後期3年博士課程の定員等を改組する必要が

II. 教育課程編成の考え方・特色

現在、千葉大学大学院医学薬学府に在籍する大学院生の70%は臨床系医師であり、この主要構成員に向けた大学院教育の再構築は速やかに、そして合理的に行わなければならない。この観点からは優れた研究能力を備えた臨床医の養成コースの設定が医学薬学府に必須である。さらに、既に実績を有する、医学薬学領域の国際的・競争的な環境下での創造的研究活動においてリーダーシップを発揮できる若手研究者を養成するプログラムをさらに発展させることも、4年博士課程の目的とする近未来医療・医学薬学を支える人材育成の実現のためには必須である。こうした多様な社会的要請に答えるためには、各人材育成に対応した下記のコースを設定すると同時に、領域横断的な教育プログラムを実施することが望まれる。この単専攻大学院では、限られた教員枠で、複眼的、かつ合理的に研究能力基盤と広く深い学識を涵養するために、医学領域、薬学領域の教員が領域横断的に共同して担当する共通基盤講義科目、系統講義科目、展開講義科目における選択科目と必修科目を履修することを通して、大学院生が各自に適した内容を効率よく修得できる教育システムを実施する(別添「千葉大学大学院医学薬学府博士課程改組計画」参照)。特に薬学領域においては、新制度の6年制卒業生だけでなく、旧制度の4年制を卒業し、既に薬剤師として働いている社会人についても積極的な受入れを図り、高度の医療薬学分野で活躍出来る人材を育成するためには同様の領域横断的教育が強く望まれる。以上の観点から、医学薬学府4年博士課程を、現行の3専攻ではなく、先端医学薬学専攻の単専攻大学院に改組することを実現したい。

①先端生命科学コース

先端的な医学・薬学の基盤となる生命科学研究を遂行しうる人材を育成するコースであり、高度に自立的な研究能力と豊かな学識を養う。本コースは基礎系、臨床系を問わず医学及び薬学領域の学生が、生命科学の広範な分野を網羅する領域横断的講義科目を選択履修して広い視野を身につけるとともに、世界を先導する研究室における個別領域科目履修による研究活動を通じて、先端的、独創的な研究を企画、遂行、展開、発信しうる能力を養う。また、本コースは研究指向の強い先端医学薬学専攻の初期受入れコースとしても位置づけられ、入学後、学生は自ら研究計画を立案することに伴い、随時、他の3コースに移行することも可能とする。

②免疫統御治療学コース

文部科学省グローバルCOEプログラム「免疫システム統御治療学の国際教育研究拠点」を起点として開始した大学院教育プログラムを発展させたコースであり、がん、アレルギー疾患等における免疫システムの統御機構の理解に基づいた免疫治療を目指す免疫システム統御治療学を担う若手研究者の育成を行う。世界水準の大学・研究所等の客員教員のもとでの海外研修も可能とする。

③先端臨床医学薬学コース

わが国の医療、医学における最重要課題の一つである、臨床的課題解決のための臨床研究、橋渡し研究を遂行しうる能力を有する「Physician Scientist」「Pharmacist Scientist」を育成するコースであり、臨床的課題・問題を基礎医学薬学的に究明・解決しうると共に、基礎医学薬学研究の先端的成果を臨床に応用しうる研究能力と広く深い学識を養う。また、先進医療実現のための臨床試験を立案、計画、遂行、評価、展開できる医師、薬剤師の育成を行う。

④がん先端治療学コース

文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン「関東広域多職種がん専門家チーム養成拠点」を起点として開始した大学院教育プログラムを発展させたコースであり、優れた研究能力を有するがん治療の指導的専門医師、先端的がん治療に携わる薬剤師ならびに医療従事者の育成を行う。わが国において切望されている、先端的研究成果に基づいた適正ながん治療の実現のため、がん治療に関する基礎・橋渡し・臨床的課題を解決しうる研究能力と広く深い学識を養う。各学会等におけるがん治療認定医・専門医、がん専門薬剤師等の資格取得にも対応した科目履修も可能とする。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
4年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、論文博士の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。なお、各コース毎に以下の科目区分開講の必要単位を修得する必要がある。	1学年の学期区分	2学期
(先端生命科学コース、免疫統御治療学コース及び先端臨床医学薬学コース) 共通基盤講義科目1単位、系統講義科目2単位以上、展開講義科目2単位以上 計30単位以上	1学期の授業期間	15週
(がん先端治療学コース) 共通基盤講義科目1単位、系統講義科目4単位以上、展開講義科目8単位以上 計30単位以上	1時限の授業時間	90分